



JR イーストユニオン関東

ジェイール・イーストユニオン関東エリア地方本部	
〒105-0021	東京都港区東新橋 2-8-28
NTT03-642-9687	JR057-7333
発行/齋藤弘昭	編集/教宣部

菅井委員長！ありがとう！！

がんばれ！斉藤新執行部！！

—第3回地本定期大会を開催—

8月29日、関東地本は本部会議室において「第3回定期大会」を開催しました。大会の冒頭、菅井委員長は「組織拡大こそが私たちイーストの正当性を唯一示せるものだ」と静かに語った。私たちの会社の生命線とも言える安全問題では「お客様にご迷惑をおかけしてはならない」、「鉄道マンの誇りにかけて安全・安定輸送を確保しなければならない」とし、さらに4月に発生した山手線電化柱倒壊事故、東北新幹線架線切断、京浜東北線エアークッション停車問題など繰り返される事故について「事故調査委員会が介入しなかなか労使で話し合える機会ができない」と現状を説明。「しかし、労使で本音の話し合いをしなければ事故の本質は見えないし、結果として再発防止の対策はできない」と喝破した。さらに7月以降頻繁に繰り返される私たちの会社をターゲットにした列車妨害については「断じて許すことができない」と安定輸送への思いを力強く述べた。また、本部執行部を代表して菅野委員長は「イースト結成以降1年が経過し新潟、仙台では支社との間で関係を築きつつある関東もシッカリ対応できるよう活動を強化して欲しい」と強調された。「今年は結果を必ず結果を出そう」と今年にける意気で話を締めた。



「断じて許すことができない」と安定輸送への思いを力強く述べた。また、本部執行部を代表して菅野委員長は「イースト結成以降1年が経過し新潟、仙台では支社との間で関係を築きつつある関東もシッカリ対応できるよう活動を強化して欲しい」と強調された。「今年は結果を必ず結果を出そう」と今年にける意気で話を締めた。

私たちはこのように闘う！—仲間からの意見—

- ・ 仕事で他支社に行くが私たちの理解者はいらる。職場の中の理解者を巻き込んで運動していく。
- ・ 趣味、嗜好などすべてを組織拡大につなげていかなければならない。自らが体現していく。
- ・ 日々の業務について、自分のレベルをはかり囁望される社員になっていきたい。
- ・ 日常業務におわれ運動に制約があるが自分として何が出来るのかを求めて運動展開したい。
- ・ 私たちの運動のメインは「民主化闘争完遂」にある。我々が我々であり続ける意味がそこにある。日常に負けずあらゆる運動を拡大につなげるために日々を大切に運動していく。
- ・ 職場に要員として、妊娠をされている方、育児休暇を取得せざるを得ない方がいる。これらの方々を要員としてカウントする事は無理がある。育児休暇、産休が取得しやすい環境を創りだすために運動展開していきたい。
- ・ 関東としての活動に参加してきた。今後は若手を獲得できるよう自分もがんばっていく。
- ・ この1年を振り返ってできたこと、できなかったことを明確にすべきだ。
- ・ 我々は最大の労働組合を創出するために決起した。そのことを忘れてはならない。志しを成就するため自らを高めていかなければならない。

選ばれた新三役

執行委員長 齋藤弘昭 執行副委員長 大和田義雄 佐藤久雄 事務局長 和知利昭

私たちは、私たちの運動、民主化闘争の限りなき前進を堂々図って参ります！！

菅井委員長、これまでのご指導に感謝いたします！